



一宮町長
馬淵 昌也

いよいよオリンピックまで1年足らずとなりました。ところが、オリンピック本体について、いまだにはつきりしないことが多く、町の皆様も、地元として、どのように関ることができると、戸惑っておられる方も多く存じます。

特に、オリンピック会場内には、イベント会場が設けられますが、そこにごのように地元が関われるのか、いまひとつ判然としません。一宮町がサーフィン会場に決まった当初は、イベントへの地元の参加も期待したいね、との声も関係者から頂きましたが、その後、具体的な要請やオファーが来ていないのが現状です。

一方、町では、来年のオリンピックサーフィン競技開催時、役場周囲において、7月26日から8月2日まで、記念イベントを開催すべく、準備を進めています。オリンピックにちなむイベントといっても、規模の小さなわたくしどもですから、身の丈に合ったレベルのものを考えています。保健センター前の広場をメイン会場とし、農林商工祭や芸能音楽祭などを合わせた形のものにイメージしています。

ブースとステージを中心とした会場とし、飲食や参加体験を通じて、来

訪者の方にわれわれの文化活動を共有して頂くことを主軸にして、一宮町の方々を中心に、周辺各自治体などからもご出展をお願いしたいと考えています。時間的には、暑い時期ですので、夕方4時から8時を予定しています。盆踊りや夜市のイメージです。役場と保健センターが至近なので、緊急対応も容易です。若干手狭感はありませんが、諸条件から考えると、ここが一番ではないかということで、選びました。

これから、詳細を決めて、町や近隣市町村の皆様にも、幅広くご参加の意向調査をさせて頂きます。調査の結果を踏まえて、具体的なラインアップを考えます。町の皆様におかれましては、是非とも、この町主催のイベントに、さまざまな形でお力添えを頂きたいと思えます。どうぞ、よろしく申し上げます。

オリンピックは、スポーツの祭典ではありますが、実は、開催地のローカル文化の発信も、重要なコンセプトなのだそうなんです。皆さまと一緒に、日本中・世界中の方々に、わたくしどもの地域文化の姿を、精一杯アピールいたしますよう。